



H29年度 入学者選抜実施要項改正について

先日、那覇地区の中学校・高等学校の先生方が集まり、3年生が受験する H 29年度の入学者選抜実施要項の改正に関する確認が行われました。そこで確認された入試制度に関する主な点は次の通りです。

- (1) H29 年度の全体的な入学定員数は 15520 人 定数
「浦添商業高校」情報処理科1クラス減 「南部工業高校」1クラス増
- (2) 学科名・コース名の変更
「真和志高校」みらい福祉科[新設](定員40)
「南部工業高校」電気設備科 →電気科(定員40)／建築設備科(定員40)
「未来工科高校」都市環境科 →土木工学科
「宜野湾高校」総合教育コース →普通コース
「豊見城南高校」IT コース →普通コース
- (3) 写真票の導入
H29 年度から写真票を導入する。旅券申請用判(縦4.5cm×横3.5cm)。出願前 6 ヶ月以内に撮影した物。写真の裏には氏名、生年月日を記入。推薦入試用/一般・二次募集用。
- (4) 住民票謄本
住民票謄本はマイナンバーが掲載されていないこと。掲載されている物は差し替え。
- (5) 沖縄県立高等特別支援学校新設
既設校 : 沖縄高等特別支援学校・やえせ高等支援学校
新設校 : 中部農林高等支援学校(沖縄高等特別支援学校中部農林高校分教室)
南風原高等支援学校(沖縄高等特別支援学校南風原高校分教室)
陽明高等支援学校(沖縄高等特別支援学校陽明高校分教室)

…ちなみに、H28 年度入試の変更には以下のようなものがありました

- (1) 通信制課程の第二次募集の出願資格についての変更。
昨年度まで通信制課程(泊高校・宜野湾高校)への二次募集への出願は、一次で通信制課程を受験し合格できなかった者に限られていました。しかし、一次で全日制・定時制を受験し、合格できなかった者。一次で受験をしていない者も受験できるようになります。(全日制・定時制・通信制課程に志願し合格した者は出願できません。また、通信制課程に志願し、合格しなかった同一校には出願できません。)
- (2) H28 年度入学定員は、昨年度比較で 120 名減。
球陽 高校 国際英語科 4 クラス → 3 クラス 豊見城南高校 普通科 6 クラス → 5 クラス
開邦 高校 理数科 3 クラス・英語科 2 クラス → 学術探究科 4 クラス
- (3) 学科名の変更
名護商工高校 「生産システム科」 → 「機械システム科」 開邦高校 「理数科、英語科」 → 「学術探究科」
- (4) 沖縄高等特別支援学校の募集に関する変更。
昨年度まで沖縄高等特別支援学校は二次募集を行っていませんでしたが、空き定員が出た場合、追加募集が行われます。
- (5) 県立南部高等支援学校(仮称)が開校になります。
学科変更や入試手続き等に伴う変更点についてお伝えします(H28 年度入学者募集要項説明会にて)

開邦高校について

- (1) 学科名と学級数の変更
中学校 1 学級の併設に伴い、従来の理数科(3 学級)・英語科(2 学級)を統合し、学術探究科 4 学級を設置。学術探究科は、2 回の希望調査を経て 2 年次から学術理科 2 学級と学術文化 2 学級に分かれる。今まで英語科で学習した内容は、学術文化で同じように学習する。ただし、入試の際は学術理科を希望する生徒とのくくり募集のような形になるので、総合力の高い生徒が合格していくであろうとのこと。
- (2) 入試手続き等に伴う変更
推薦の出願における各学校からの推薦人数(H28 年度)
学術探究科 8 名以内 芸術音楽コース 3 名程度(従来通り) 芸術美術コース 3 名程度(従来通り)
- (3) 適性検査について
学術探究科における適性検査は国語・社会・数学・理科・英語の各科目について実施。検査時間は国語・数学・英語(リスニング含む)が 20 分、理科・社会 15 分とする。なお、昨年度まで実施していた英語科の適性検査で実施していた英語によるインタビューは実施しない

国立高等専門学校について

国立高等専門学校入学者選抜学力検査におけるマークシート方式の導入について
平成 28 年度入試(平成 28 年 2 月実施)から、国立高等専門学校の入学者選抜学力検査が、従来の記述式による解答方法からマークシート方式による解答方法に変更されます。マークシート方式による解答は、全国学力・学習状況調査などでも採用されており、中学生の皆さんも一度は目にしたことがある方法です。

★ お知らせ ★
図書館に高校案内(パンフレット)コーナーを設置しました。
是非、見に行ってください!!